

委 13-4-1

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 4 月 4 日～平成 18 年 4 月 11 日)

平成 18 年 4 月 12 日

宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

4 月 7 日 (金)

- ・ 光衛星間通信実験衛星「きらり」(OICETS) と情報通信研究開発機構光地上局による光通信実験の成功

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 4 日 (火)

- ・ スペース・アドベンチャーズ社、宇宙旅行者を発表【米・露】
4 月 3 日 (現地時間)、スペース・アドベンチャーズ社は、元マイクロソフト社の Charles Simonyi 氏が、国際宇宙ステーションに滞在する世界で 5 人目の宇宙観光客として、ロシアのソユーズロケットで出発する計画が進められていると発表した。報道によると、早くも 2007 年春に搭乗する予定。

4 月 9 日 (日)

- ・ 第 12 次長期滞在員等帰還【露】

4 月 8 日 23 時 48 分 (世界標準時)、ソユーズ宇宙船がカザフスタン共和国に着陸し、第 12 次長期滞在員 2 名 (米・露)、短期訪問クルー 1 名 (伯) が無事帰還した。また、クルーとともに、

昨年 12 月にプロGRESSにより打ち上げられ、国際宇宙ステーション (ISS) において実験が行われていた、我が国の 3 次元フオトニック結晶生成実験試料 (第 1 回) 及び高品質タンパク質結晶生成実験試料 (第 6 回) が回収された。

※ なお、本実験の結果については、解析でき次第、定例会において報告する予定。

その他

「宇宙開発の現状報告」と前回の「議事要旨」が紹介され、議論なく終了した。